

復また

愁うれ
う

杜と

甫ほ

万ばん国こく尚なお
戎じゆう馬ば

故こ園えん今いま若わ何か

昔むかし帰かえりしとき
相さう識しき少まれ
に

蚤はやく己すに
戦せん場じやう多おほかりし

【作者】杜甫(七一二〜七七〇年)中国、盛唐期の詩人。鞏(きよう)県(河南省)の人。字(あざな)は子美(しび)。少陵と号し、杜工部、老杜とも呼ばれる。青年時代から各地を放浪。湖南省の湘江付近で不遇の一生を終えた。現実の社会と人間を直視し、誠実・雄渾な詩を作り、律詩の完成者で詩聖と称され、詩仙と呼ばれる李白と並ぶ唐代の代表的詩人とされる。「兵車行」「春望」などは有名。

【語釈】*復愁:『復愁十二首』の中の第三首。 *萬國:諸国。 *戎馬:兵馬。軍馬。戦馬。転じて、軍事。戦闘。戦乱。戦争。 *故園:故郷。ふるさとの田舎。 *若何:どうしよう。なんとせん。いかん。 *相識:顔見知り。知人。互いに知り合っている人。 *少:すくない。稀な。減った。 *蚤:はやい。はやく。 || 早。

【通釈】諸国は、なおも戦乱状態であり。故郷は、今、どんなであるうか。以前に帰郷した時でさえ、顔見知りは、稀であつて。・昔歸:以前に帰郷した時。その時からはやくもすでに、戦場となつてるところが多かつたが。